



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F

●会長 古橋 直彦
●幹事 遠藤 隆浩
●会報委員長 塚本 直人



晩冬の大正池 蜘蛛手 康介

<会長の時間>

先日、友人宅で「きり絵」を見ました。本町 2 丁目の義基憲人さんの「きり絵」でした。見た覚えがありましたので、尋ねましたところ、以前市民時報に連載されていた「飛騨百景」での挿絵でした。

「飛騨百景」とは、高山 RC のメンバーでもあります「小鳥幸男さん」が文章を、その目次の表題に關したきり絵を義基憲人さんが担当した企画物で、内容は飛騨全域にまたがり地域、お寺、神社、建物や焼き物の事などが毎回のタイトルとなっています。2 年に亘り掲載されていました。また、S58 年に本になり出版されましたので、ご覧になった方も多いと思います。その後、義基さんが飛騨百景で使用した挿絵の原画を販売された際、友人が数点購入したとの事でした。そのきり絵ですが小学生位の女の子のバックに数頭の馬が描かれたものです。改めて、飛騨百景で確認した処、タイトルが「日和田」サブタイトルが「馬大尽の夢の跡」での挿絵でした。「馬大尽」の大尽は「総理大臣」の大臣ではなく「尽くす」方の大尽、大尽遊の方です。

さて、その馬大尽・原氏の話です。「馬大尽イコール (=) 原氏」ですので「馬大尽原氏」が一つの単語になるほど飛騨では今でも語られています。

平家討伐のため、木曾義仲が挙兵する数年前より、阿多野郷と言われた現在の高根村・朝日村辺りで木曾馬の放牧飼育が盛んになりました。平家の探索が届かない飛騨山中で木曾馬の分散飼育をして、軍備を整えていました。その飛騨の木曾馬の数は千頭以上と言われ、阿多野郷の農民は木曾義仲軍に多数従軍したとおもわれます。この時、戦いに加わらなかった仔馬や老馬が日和田高原一帯に残りこれが飛騨の木曾馬、馬大尽原氏の隆盛のルーツと思われます。飛騨三木氏の家臣で阿多野郷の豪族・桧田（ひわだ）治郎左衛門の系譜が原氏であり、金森長近が高山城主になった頃より、馬小作により築いた財産を基に塩・米・魚等の商売を盛大の行い、江戸時代までには阿多野郷の大名主として君臨し日和田の田地の全部と畑のほとんどを持ち、江戸時代日本の 3 大馬市の一つ木曾福島馬市は原氏の存在無くしては成立しないくらいで、不動の地位を築き、出頭馬の 2 割余りを占めていました。木曾福島で開かれる馬市までの約 38 km を全く他人の土地を踏まずに行けたという伝説さえあります。

原氏は明治 30 年代の全盛期を迎え、原氏所有の木曾馬を小作人に貸し出し原氏の種馬で子馬を生まれさせ、生まれた子馬を市にだして売り、その代金を小作人と折半するという、馬小作人制度の上にと

っかりと腰を据えて、また、明治政府の富国強兵により軍馬供給で財を成し、親馬は最盛期で 1,700 頭、小作馬を合わせると 3,000 頭余りを所有し、明治 20 年の飛騨金持ち番付で前頭に位置付けされています。

そんな馬大尽原氏ですが、昭和 2 年当主助次郎が亡くなりその 3 年後の昭和 5 年に突然倒産します。原因は大正・昭和の農村不況。陸軍が軍馬の調達に規格を定めると、背の低い木曾馬は規格に合わず、あっという間に凋落（ちょうらく）し昭和恐慌が襲い倒産しました。現在、栄華を極めた時代の豪邸を偲ぶものは、総けやき造りの正門くらいです。

馬大尽原氏の逸話は日和田を通るたび色々な人から聞きます。印象に残っている話は、「馬大尽原氏の家には毎日木曾福島の方から生菓子が届けられた」と。約 38 km の道のり誰がどんな手段で届けたのでしょうか？

<幹事報告>

◎ガバナー、次期ガバナー、地区会員増強部門委員長より

・次期会員増強研修セミナー開催のご案内
日 時 5 月 7 日(土) 点鐘 11:00 終了 15:30
場 所 岐阜グランドホテル 岐阜市長良 648
出席義務者 現・次期会長・幹事、会員増強委員長、入会 3 年未満の新会員

◎ガバナー、地区青年奉仕部門委員長、地区 I A 小委員会委員長より

・教師部会開催のご案内
日 時 5 月 15 日(日) 協議会 14:00~16:00
場 所 じゅうろくプラザ 岐阜市橋本町
出席者 クラブ次期会長、クラブ次期 I A 委員長、顧問教師

◎高山市社会福祉協議会より

・平成 27 年度高山市社会福祉協議会第 3 回評議員会の結果報告について

<受贈誌>

高山中央 RC (会報)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	30 名	1 名	31 名	42 名	73.81%
本日	31 名	—	31 名	42 名	73.81%

世界へのプレゼントになろう

例会報告

<本日のプログラム> 社会奉仕・ヘルス委員会 委員長 向井 公規

本日は社会奉仕・ヘルス担当委員会です。当クラブの田近毅さんからご紹介頂きました、社団法人岐阜県看護協会立訪問看護ステーションの管理者をなされています野崎加世子様にご講話を頂きたくお越し頂きました。野崎様には大変お忙しいところ誠にありがとうございます御座います。



簡単に野崎様の略歴をご紹介します。

1978年岐阜市立看護専門学校ご卒業後、岐阜市民病院で勤務され、その後ご主人様のふるさとである高山に移住し、1994年より岐阜県看護協会立訪問看護ステーションでお勤めになられています。

また平成25年には、高山市のソロプチミストの皆さまからのご推薦があり、「女性を助ける女性のために」与えられる国際ソロプチミストのルビー賞で全国2位を受賞されました。

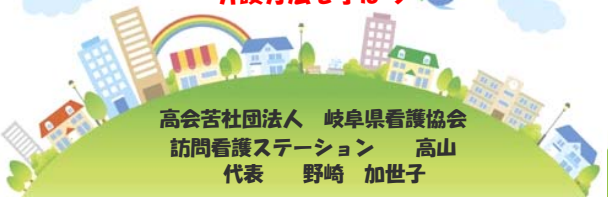
野崎様には、田中武さん社会奉仕・ヘルス担当委員長を務めてみえました平成24年2月24日の例会の際にも一度ご講話をいただいております。その際は「こんなことでは日本の看護はダメになる。私が立ち上がり看護の大切さをどうしても知ってもらいたい」と熱い想いを語って頂きましたが、本日は、様々な介護サービスができていながら、「住み慣れた場所で安心して暮らすために」と題しまして、介護サービスの現状をお話頂きますのでよろしくお願いたします。



住み慣れた場所で安心して暮らすために
(社)岐阜県看護協会立訪問看護ステーション 野崎 加世子 様

病気になっても障がいを持っても 生き生きと暮らせる町作りを目指して

- ・認知症の正しい理解と予防
- ・介護方法を学ぼう



自己紹介...私は訪問看護師です。



訪問看護とは

かかりつけ医の指示のもと24時間365日
安心して住みなれた自宅で療養できるよう
支える看護サービス

こんな方に行っています

- ・医療的ケアや管理が必要
- ・退院してからの介護が不安
- ・急変時の対応が心配
- ・家で最期を迎えたい



もし、ご自分のご家族が介護が必要になったら？

- ・まず、誰かに相談する
- ・入院中であれば医師や看護師に...
- ・在宅であれば、かかりつけ医師か市役所？

介護保険申請（市役所）

介護度...要支援1、2 要介護1から5に認定

どこで療養するか

在宅(要支援・要介護どちらでも)

施設(要介護の方のみ)

施設名	負担金(月)	
特別養護老人ホーム	7万円~12万円	新宮園・寿楽苑等
老人保健施設	12万円~14万円	はなさと・それいゆ香園荘等
有料老人ホーム	15万円~25万円	ピオメゾン・シニア等
サービス付き高齢者住宅	14万円~16万円	きりん レザミ等
グループホーム	10万円~12万円	花咲・まめかな等
小規模多機能施設	5万円~10万円	ほのぼの朝日・グレースシニア等
ケアハウス	13万円~14万円	ケア21等

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目前に、重要な介護状態となる住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。
 - 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
 - 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要があります。



わが国の認知症に対する動き

- ・施設ではなく住み慣れた地域での生活を実現



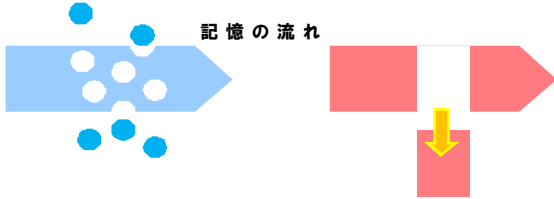
- 認知症になっても地域で暮らしたい人が増加
- ・予防活動の推進
- ・早期発見・早期治療
- ・認知症と診断できる専門医の増加
- ・新しい治療薬の開発・研究



例会報告

加齢によるもの忘れ

認知症



- 体験の一部を忘れる
- ヒントがあれば思い出す
- 時間や場所の見当はつく
- 日常生活に支障はない
- もの忘れの自覚がある

- 体験したこと自体を忘れる
- ヒントがあっても思い出せない
- 新しい出来事を記憶できない
- 時間や場所の見当がつかない
- 日常生活に支障がある
- もの忘れに対して自覚がない

認知症の早期発見の意義

- 認知症の世界を理解した適切な対応
- 進行を抑制する薬の服用
- 社会資源の活用、サービス利用(介護保険)
- 成年後見制度の活用 などなど



認知症の予防

- 生活習慣病の予防・治療する
- 適度な運動・・・散歩などの有酸素運動、家事
- 食生活・・・バランスよく、日本の朝食
- 歯の健康維持、よく噛む
- アルコールはほどほど、喫煙しない
- 水分をよく摂ろう
- 脳の活性化・・・趣味、人との交流、旅行など
- ストレス発散、リラックス、よく笑う、あきらめない
- いい睡眠、いい起床
- 疲れたら適度な休養(30分以内の昼寝)

認知症の人の介護

- 記憶にないこと(忘れてしまったこと)をとやかくいわれても、なんのことやら？
→ 理屈は理解できないが感情は伝わりやすい
- 「心」は生きている
→ 人としての尊厳を忘れずに

- 感情をぶつけない
→ 何回同じこと言わせるの？

誰もが助け合う地域を目指して 認知症はあくまでも町づくりのきっかけ

- 子供たちに・・・
高齢者を敬う気持ちを教えたい
共に支えあう地域社会の大切さを教えたい
- 社会のために・・・
認知症の知識を広める
地域コミュニティの再構築

他職種協働、世代間交流、地域協働の町づくりの推進

介護をするうえで大切なこと 「笑顔」「笑い」を大切に

- 微笑みかければ貴方も家族も
お互いに元気になれる
- 自分の**気持ちを誰かに話す**ことで
ずいぶん楽しくなるはず



<ニコニコボックス>

●古橋 直彦さん、遠藤 隆浩さん

岐阜県訪問看護ステーション連絡会 会長 野崎 加世子 様の御来訪を歓迎いたします。ご講話よろしくお願ひ致します。

●向井 公規さん、阪下 六代さん、垣内 秀文さん

本日は社会奉仕・ヘルス委員会の担当例会です。野崎加代子様には、大変ご多忙の中を快く卓話にお出で頂き感謝いたします。介護に対しての認識を深めたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

●田中 晶洋さん、伊藤 松寿さん、内田 幸洋さん

岐阜県訪問看護ステーション 野崎 加世子 様、御来訪を歓迎いたします。活動の幅広さとずば抜けたバイタリティに感服いたします。本日の卓話楽しみにしております。

●田近 毅さん

- 野崎さんの御来訪を歓迎申し上げます。2025年頃の介護状況についてもお話し下さい。
- 4/10(日)文化会館で認知症公開セミナー「ゆめのほり〜認知症グループホーム福寿荘」の上映会を行います。野崎さんも『介護サービスを理解する』という題で講演されます。切符は田近まで。500円です。

●黒木 正人さん

結婚記念日のワインありがとうございました。先般娘が結婚する相手のご両親との初顔合わせを東京で行って来ました。相手方の父親とは同じ年であることなどから意気投合し、調子づいてワインを飲み過ぎて最後はお互いろれつが回らない状態でした。カミさんからは「お父さんワイン飲み過ぎ」と注意されたことから、ロータリーから結婚記念日のワインを頂いた事は内緒にしてありますので皆さん御協力を願ひします。

●岡田 賛三さん、新田 敬義さん、米澤 久二さん、田中 晶洋さん
飛騨市神岡町の鉾山の旧坑道内に整備が進められていた日本初の大型重力波観測装置「かぐらKAGURA」が本日より試験運転を始めました。本格運転は2017年からですが、日米欧でブラックホールや宇宙誕生のなぞの解明に取り組むそうです。飛騨から世界に向けての情報発信コンテンツがまた一つ増えました。

世界へのプレゼントになろう